

4がつうまれのおともだち
おたんじょうび おめでとうございます

今月の聖句のお話の中で「良い羊飼い」についてお話いたしました。では「良い羊」はいるのでしょうか。丸々肥えた羊？毛並みのいい羊？なるほど。羊を消費する人々にとって「良い羊」はなんとなく分かる気がします。しかし、神様をご覧になるとき、そんなところには目を向けられません。神さまが喜ばれるのは、羊が良い羊飼いを信頼し、付き従い、愛の中で養われる姿です。子どもたちは誰かに都合よく消費されるために成長するものではありません。神様を愛し、誰かを愛することができるようにと、招かれているのです。子どもたちの笑顔や誰かのために祈る姿が、神様にある平和を世の中に広めるでしょう。



★4月生まれのお友だちのお誕生会を4月21日(水)を予定しています。

今年度も園児のみでお誕生のお祝いを致します。

★これからも神様に守られて健やかに 心も体も大きくなりますようにお祈りしています。

長子田中つひなをひかる

子育てをしていると、どうしても目先のことにとらわれがち。情報が氾濫し、価値観が多様化する今は、大らかな子育てがしにくい現状もあります。トイレトレーニングがうまくいかない、公園の砂場でお友達とうまく遊べない……と日々の悩みは尽きませんね。でも、大人になってもオムツをしている人はいませんし、三歳児でお友達におもちゃが貸せないからといっていじわるだと決めつけることもおかしいでしょう。子どもの心と体には発達段階があります。入乳幼児期にはお母さんとの基本的信頼感が必要で、それをもとに子どもは周囲の人間関係を身に付けて自立していきます。今は何を一番大切にしなければならぬかだけを考え、今できることはあせらず、ゆっくりとした構えで子どもと向かい合ってみてください。

引用「子どもの心を育てるしつけの本」子育て協会

佐々木正美監修

杉浦正明・ゆめいびと編集